

別紙様式 1 号

匿名データの作成計画【雛形】（案）

〇〇〇〇調査（平成〇〇年）について、以下のとおり匿名データの作成を行う予定である。

1 〇〇〇〇調査の匿名データを作成する理由

本調査は、《調査目的を記載》を明らかにすることを目的に世帯及びその世帯員を対象に《調査周期を記載（毎月、毎年、5年ごと、等）》実施している統計調査であり、学術研究や高等教育において利用ニーズが高い調査であることから、匿名データを作成するものである。

2 作成する匿名データの種類

（調査票が1種類の場合）

本調査の調査票の匿名データを作成する。

（調査票が2種類以上の場合）

本調査は、〇〇調査票と△△調査票の2種類で行われているが、今回は〇〇調査票の匿名データを作成する。

本調査は、〇〇調査票と△△調査票の2種類で行われているが、今回は〇〇調査票と△△調査票を結合し、匿名データを作成する。

3 匿名データの作成方法の概要

（初めて匿名データの作成を行う統計調査の場合）

匿名化処理基準を参考に、以下の技法等を組み合わせて匿名化処理を行う予定である。

- ・ 元の統計調査のレコード全てを匿名データに用いるのではなく、それに間引きを施したものを用いる（リサンプリング）
- ・ 識別情報は、レコードから全面的に削除する。また、レコードの配列順が意味をなさないように、無作為に並べ替えを行う（識別情報の削除等）
- ・ 出現頻度が低い又は特徴的な値があるレコードは、削除する（裾切りによるレコード削除）
- ・ 極端に大きな値（又は小さな値）は、上限値（又は下限値）を設けて頭打ちにする（トップコーディング（又はボトムコーディング））
- ・ 分類事項の粒度は、詳細なものではなく、粗いものとする（グルーピング）
- ・ 攪乱手法

（匿名データの年次追加を行う統計調査の場合）

匿名化処理基準に準拠したリサンプリング、グルーピング、トップコーディング、ボトムコーディングや識別情報の削除等の匿名化処理を行う予定である。

4 提供予定時期

平成〇〇年〇月